

7月 近況レポート



7月2～4日の三日間に台南・高雄へ旅行に行ってきた。台鉄で三時間半程揺られ台南に降り立つと、台北とは違った乾燥した空気と照りつくような暑さを感じた。上の写真は台北→台南市までのチケット。改札を通して機械に吸い込まれない仕様のため良い記念になった。



色んな人から台湾南部はとにかく天気が抜群にいいと聞いていたが、全くその通りで三日間とも快晴で気分もあがった。その代わりと言っては何なのだが、日差しが強く日傘・日焼け止めクリーム・サングラスの三種の神器がないと肌と目がやられてしまう。ちなみに私はサングラスを持っていなかったため、途中から目が、目が～と（心の中で叫びながら）過ごす羽目になった。次は完全装備で挑みたいものである。

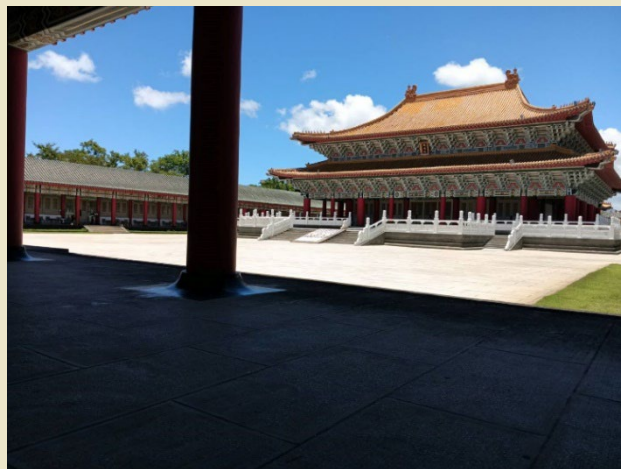
右の写真は台南市仁徳區に位置する奇美博物館のものである。西洋芸術・楽器・兵器・自然史を見物できる施設で、写真の建物以外にも周りには庭園が広がっておりピクニックや散歩をしている人もちらほら。





高雄

高雄の歴史は先住民族の漁村から始まり、オランダ統治時代、明清時代、日本統治時代を経ているため、特に建築物にその違いが見受けられる。他に、現在の地名である「高雄（タカオ）」は日本統治時代に改称されたもので、元々は「打狗（タカウ）」だったのだが、920年に日本語の発音が似ているという理由から変わったのだという。ちなみに、高雄の地名は京都市右京区の高雄山が由来だとする説が有力である。



左營蓮池潭

蓮池に隣接する孔子廟は台湾最大規模を誇っている。中国北部の宮殿建築を模範としているため、他の孔子廟と異なる様式を見ることができる。

鴨肉飯

台北にもあるが高雄の鴨肉飯も美味しかった。鴨肉と、その旨味たっぷりの脂を吸い込んだご飯を掻き込む時間は、まさに至福のひとつだった。



美麗島駅構内の天井がライトアップされた時間帯に撮った写真。実際に見ると鮮やかな色彩と作品の大きさに圧倒され、とても幻想的だった。

佛光山佛陀紀念館では、台湾人仏教徒の温かさを肌で感じることができた。各塔にはそれぞれ管理人がおり、中に入るとにこやかな笑顔で迎え入れてくださった。さらに、お茶を振る舞ってくださるなど、さまざまなおもてなしを受け、その心遣いに深く感動した。



日常生活

夏休みに突入してから台湾の中国語試験である華語試験に向けて勉強をしている。中国語のモチベーションを維持するために開始したのだが単語数が膨大で苦戦中である。夏休み明けに試験があるため頑張りたい。

定期的に仲の良い台湾の友達と会っている。最近は寮の部屋の中でお喋りすることが多く、アニメを見たり、簡単なボードゲームで遊んだりしながら交流している。たまに相手の中国語が聞き取れず悶々とすることもあるが、そういう時は納得するまで説明してもらうことを忘れないように努めている。

師範大で知り合った日本人正規留学生の友人に勧められ、台湾の「コメダ珈琲店」で食事をする事になった。正直なところ、台湾にもコメダ珈琲店があること自体知らなかったため驚いたが、それ以上に衝撃を受けたのはサンドイッチの大きさである。日本の店舗と変わらないボリュームで提供されており、日本と同じ味や量を台湾でも楽しめることに、少し感動した。